

2021年12月
(No.81)

あこう社協だより



【特集】若い力に伝えたいこと 2P

お世話になりました(実習の感想)

まち発見! あこう福祉ニュース 5P

令和3年度福祉作文 入選者決定! 6P

歳末たすけあい運動

～つながり ささえあう みんなの地域づくり～

..... 8P

「お久しぶり」も

「初めまして」も一緒に

10月30日(土)、高雄公民館グラウンドにて、「いこいのひろば“たかお”グラウンドゴルフ大会」が開催されました。

晴天に恵まれ、子どもから大人まで地域住民約63人が参加しました。初めての方も、マイスティック持参のベテランの方も1打ごとに盛り上がり、久しぶりの交流を楽しみました。

特集

障がい者週間（12月3日～12月9日）

若い力に伝えたいこと

社協では、赤い羽根共同募金を活用して市内の小・中・高校を福祉協力校に指定し、支援しています。その中の「福祉体験学習」では、実際に障がいのある方から話を聞いたり体験をすることで障がいや高齢についての理解を深めています。

今回の特集は、市内の各学校へ行き、「福祉体験学習」の講師を務めている障がいのある方とボランティアグループに、「障がいについて学ぶ子どもたちや学生に伝えたいこと」をお聞きしました。



障がいを身近に感じて

私が視覚に障がいを持ったのは、47歳のときでした。網膜剥離と診断され、手術を予定していた矢先に阪神・淡路大震災が発生し、病院が被災したことで、手術の日程が大きく遅れ、術後に目が見えなくなり、視覚障がい者になりました。

子どもたちには、「障がい者は特別な人ではなく、みんなと変わらない生活をしているということ」を知ってもらい、身近に感じてもらえればと思っていますの



【アイマスク体験学習】 三宅 秀和 さん

で、日常生活の話をできるだけ取り入れ、みんなの生活との違いや工夫などを伝えています。

長年学校へ行っていますが、私の話を聞いた子どもが、町で「三宅さん」と声をかけてくれることがあります。そうやって気軽に接してもらえると、私の思いが子どもたちに伝わったのかなと感じることができ、とても嬉しいです。これからも少しでも子どもたちの役に立てればと思っています。



点字で学ぶ福祉の心

これまで20年以上にわたり、点字のしくみ、読み方や打ち方を伝えています。単に点字を学ぶだけではなく、点字がどのように使われているかを知り、それを通して「視覚障がいについての理解と点字の役割を学んでほしい」という思いで点字を教えています。

今もなお、点字ブロックの上に自転車を停めている人などを町で見かけます。このような場面を見ると障がいについての理解がされず、障がいのある方が住みに



【点字学習】 赤穂点灯会

くさを感じるようなことがあると感じます。これからの時代を担う子どもたちには障がいのある方のことも考え、支えられるような人になってもらいたいと願っています。

子どもたちが熱心に点字学習に打ち込み、点字のことが理解できたときや、視覚に障がいのある方に点字で打った自分の名前を読んでもらえた時の嬉しそうな表情を見た時、学習に携われて良かったと感じます。



夢に向かって小さな積み重ねを！

私は、生まれつき下肢に障がいがあり、以前は装具をつけて歩いていましたが、現在は車いすを使っています。体を動かすのが好きなので、中学生の頃から水泳を始め、身体障がい者野球、陸上競技（マラソン）もしてきました。現在は、車いすソフトボールで世界大会に出場することを目標に、仕事をしながら、平日の早朝や土日には、トレーニングに励んでいます。

学習では、競技用の車いすに乗ってもらい、少しで



【車いす体験学習】 枝川 哲也 さん

も障がい者スポーツに興味を持ってもらいたいと思っています。また、子どもたちの前ではいつも、私の夢と、夢への日々の努力の話をしています。子どもたちにも自分の夢に向かって小さなことを積み重ねてほしいです。そうすれば、何らかのかたちで自分のためになると信じています。私の夢に向かう姿が可能性のある子どもたちの力に少しでもなれたらと思っています。



手話に親しみを

聴覚障がいは、見た目では分かりにくい障がいと言われます。それが理由で不便さや辛い思いをすることもありましたので、そのような障がいの壁を少しでもなくすために、学習ではできるだけ手話の楽しさを伝えるようにしています。手話の楽しさを知ること、手話に親しみが湧きます。

また、学習を通して聴覚障がいについても学んでもらえると障がいの壁は少なくなっていくと思います。



【手話学習】 赤穂ろうあ協会

学習では、小学校の低学年から高校生まで、熱心に取り組んでいる姿を見ると、とても嬉しいです。また、町で子どもたちが声をかけてくれると、手話や障がいに対して壁を感じず、親しみを持ってくれていると感じ、やりがいを感じると共に嬉しく思います。子どもたちのその心から、家族や地域への理解に少しでもつながると期待しています。



福祉体験学習を受けた児童の感想



車いすマークの駐車場の意味も知れたので、家族が車を止めようとしていたら教えてあげようと思います。

点字を楽しく知ることができました。これからも点字についてもっと知っていきたいです。

僕も夢をかなえるために、努力したいと思いました。



実際に体験をすることで障がいのある方の気持ちが少し分かりました。困っている人がいたら助けになりたいと思いました。

手話以外にも耳の聞こえない人とコミュニケーションをする方法があることにおどろきました。耳の聞こえない人に会ったら声をかけようと思います。

お世話になりました

8月17日から11月22日までの間、実習生の受け入れを行いました。お世話になった皆さまありがとうございました。



関西福祉大学
社会福祉学部
3回生
中村 翼

多くの所へ訪問して色々な活動を経験させてもらい、人との繋がりが一番大切であると感じました。人は誰かと繋がりを覚えることで、やりがいや生きがいを見つけられると学びました。



関西福祉大学
社会福祉学部
3回生
横山 ひとみ

多くの地域住民の方々と関わらせていただきました。利用者を中心にさまざまな機関が連携している姿を見て、福祉は地域のみならず作っていくものだという事を改めて感じました。



兵庫大学
生涯社会福祉学部
3回生
室井 ひなた

文字だけでは分からない、人と人の関わり、地域の皆さんの思いを知ることができました。社協職員が地域にはどんな人たちが住み、どんな支援を必要としているかを常に考え、とことん悩み抜く姿が印象的でした。

まち発見! あこう福祉ニュース



目指せ！ホールインワン

11月6日(土)、赤穂市身体障害者福祉協会主催の「福祉ふれあいグラウンドゴルフ大会」が、赤穂の天塩海浜スポーツセンターで行われました。障がいのある人や民生委員、市議会議員、福祉職員など44名が参加し、交流を深めました。



一緒に笑って楽しもう!

11月6日(土)、ボランティアグループ「赤穂ペイトレ研究会」主催の「赤穂ペイトレSPORTSフェス」が行われました。子どもたちと保護者、関西福祉大学の学生や地域のボランティアなど58名が参加し、誰もが楽しめるスポーツを“みんなで”楽しみました。

心配ごと相談所のご案内

(12月8日～1月5日まで)

【一般相談】 12月 8日(水) 12月22日(水)
1月 5日(水)

【弁護士相談】(要予約) 12月15日(水)

【カウンセラーによるこころの相談】(要予約)
12月22日(水) 1月 5日(水)

※時間はいずれも午後1時～5時までです。

※相談は無料です。

問合せは、下記までご連絡ください。

ひきこもり家族のつどい

外出しづらくひきこもり状態にある方の家族を対象に、つどいを開催します。

日々の思いや疑問、不安など何でも大丈夫です。ぜひこの機会に、一緒にお話ししてみませんか。

◆日 時：12月23日(木)
午後1時～4時

時間内
出入り自由

申込不要

◆場 所：みんなのいえ
(赤穂市塩屋656-17)

◆対 象：ひきこもり状態にある方の家族

◆参加費：無料

◆問合せ先：下記までお問合せください。

賛助会費 ありがとうございました

【個人】岡田 勲 匿名1名 (敬称略)

【法人】パティスリープリエール

福祉の拠点をみんなで支えてください。

- 法人会費 5,000円
- 個人会費 2,000円 ●一般会費 500円



賛助会費は、社会福祉協議会の貴重な財源です。安定した地域福祉事業の充実や発展を図るためにも、皆様のあたたかい援助が必要です。ご協力をお願いいたします。

あなたのやさしさを善意の窓口へ

善意銀行だより

あたたかい善意をありがとうございました
預託状況(11月1日～11月25日受付分)

赤穂市善意銀行
マスコットキャラクター
ぜんい君 こころちゃん

●委任預託 (敬称略)

住 所	預 託 者	金 額	預 託 内 容
御 崎	匿 名	3,000	福祉のために
東 浜 町	二宮 紀秀	500	福祉のために
中 広	匿 名	5,000	福祉のために
—	匿 名	5,000	車椅子借用御礼
北野中	木津 章	30,000	亡母満中陰志

◎善意銀行受付窓口・・・赤穂市社会福祉協議会◎

令和3年度福祉作文 入選者決定!

身近な福祉活動をテーマにした作文を募集し、小学生・中学生・高校生および一般市民の方々より、計453点の応募をいただきました。

慎重な審査の結果、次の方々が入選され、12月4日(土)に開催された「障がい者週間ともに考える市民のつどい」の席上で、以下の方々表彰されました(各部門大賞・特選・入選の方のみ)。

※敬称略

【小学生の部】

大賞

川島 蓮生(御崎小6年)

特選

吉永 直矢(尾崎小6年)

入選

西山 笑琉(塩屋小5年)

寺田 知歩(高雄小5年)

佳作

新田 葉菜(赤穂小4年)

中山 楓太(城西小6年)

山口 遼(塩屋小6年)

山下 龍一郎(赤穂西小6年)

小川 桔平(尾崎小6年)

中野 創介(御崎小6年)

村上 ひなた(坂越小4年)

廣瀬 仁紀(高雄小6年)

井上 実玲(有年小5年)

藤原 蒼真(原小6年)

【中学生の部】

大賞

萩原 明依(赤穂西中1年)

特選

濱川 志桜(赤穂東中3年)

入選

三谷 春翔(赤穂西中2年)

寺下 空輝(坂越中2年)

佳作

本林 春乃(赤穂中2年)

井出 乃愛(赤穂西中2年)

森脇 遙(赤穂東中3年)

川本 梨乃(坂越中3年)

鈴木 美咲(有年中3年)

【高校生以上の部】

大賞

安部 葉菜(赤穂高2年)

特選

森本 由香里(一般)

入選

北岡 茉凜(赤穂高2年)

桑原 悠人(赤穂高2年)

佳作

大谷 庵(赤穂高1年)

ご応募いただいた皆さまには、深く感謝申し上げます。入賞作品は福祉作文集にまとめ、市内の学校や福祉施設、医療機関へお届けするほか、福祉会館でも配布し、広く福祉活動の場で活用させていただきます。

小学生の部大賞



「千分の一の プレゼント」

御崎小学校6年
かわばた れお
川島 蓮生

みなさんはダウン症について知っていますか。

ぼくには七才の小学二年生の妹がいて、その妹にはダウン症があります。七年前、ぼくはお兄ちゃんになりました。妹が生まれた日の事を思い出すと、自分がお兄ちゃんになったと言ううれしさと自覚を感じました。その時は妹がダウン症であることは知りませんでした。ただ、お父さんが、「耳が小さい、耳が低い位置にあるなあ。」とつぶやいていた記憶があります。

入院から二、三日経ったころ、妹とお母さんに会いに病院に行くと、なぜかお母さんがずっと泣いていました。ぼくは当時幼稚園児で幼いながら何かあったのだろうと思いました。

その後、妹は検査で、ダウン症と正式に診断されました。

ダウン症とは健常者とはちがって、とてもゆっくりと成長していくもので、また知的なおくれもありません。それだけではなく、心臓に穴があいていたり、耳が聞こえにくかったり白血病になったりと数々の身体的な病気を合併する障がいのことです。

二十一トリソミーとも別名言われています。染色体の異常で、健常者はふつうは二十一番目の染色体が二本のところ、妹の場合は一本多かった事が原因でダウン症になりました。

お母さんは妹の障がいのことをうけとめられず、ずっとふとんの中で泣いていましたが、妹が一才になったころ、救急車で遠い病院まで運ばれ、命のきけんがありました。一命はとりとめましたが、その後妹は何度も入退院をくり返し、はなればなれの生活をしていました。妹は、大きな病院で大きな手術を小さな体でのりこえてきました。

お母さんから聞いた話ですが、染色体異常の赤ちゃんは、おなかの中で生きられず、十人のうち九人の赤ちゃんはおなかのなかで死んでしまいます。それを聞いたぼくは「とてもとても強い命なんだなあ。」と思い妹をそんけいしています。

いろんな困難を乗り越えて、妹は今元気に、特別支援学校に通っています。妹はずっとニコニコして

いるし、毎日楽しく生きていて、とても羨ましく感じます。まわりの空気を読むのが得意で、例えばぼくが元気がなさそうにしていると、妹がぼくの顔を覗き込み「大丈夫」と言って頭を撫でてくれます。あとはとにかくかわいいです。一緒にいてとにかくいやされます。妹は、ぼくにないいいところがたくさんあります。妹がいない生活なんて考えられませんが、成長はかなりゆっくりですが、練習や訓練をくり返すことで、できるようになる事もたくさんあります。意外に、人が言っている事をよく分かっているので、妹のプライドをきずつける事は注意が必要です。

障がいを持つ妹と外出すると、他人からの視線をあびる事もありますが、ぼくはまったく気になりません。なぜなら、妹はとてもかわいい家族だからです。妹のしゃべる言葉ははっきり聞きとりにくいのですが、ぼくは妹が言っている言葉はほとんど理解できます。

あれだけ泣いていたお母さんは笑っています。妹はとてもひょうきんでおもしろい事をして家族を笑わせています。

お母さんは今、医療の専門学校で将来リハビリの先生を目指す学生さんに向けて授業する先生をしています。その中で、ダウン症の事についても学生さんに伝えていきます。学生さんたちもダウン症の人に出会った事が少ないのであまり分からない事も多いと言っていたようです。ダウン症について学生さんたちに伝えるお母さんは、とても生き生きして見えました。

ダウン症の子は千分の一の確率で生まれると言われて、千分の一を引き当てたぼくたち家族はラッキーだと思っています。

障がいがあることは大変な事も確かに多いですが、けっして不幸ではないと思います。

妹がいたからこそ、命の大切さや健康のありがたみを学ぶ事ができました。

ダウン症の人の平均寿命は短く、四十才くらいで亡くなると言われています。短い人生ですが、ぼくも妹とたくさんの思い出を作っていきたいです。

ダウン症という名前は、イメージが悪いように聞こえますが、ぼくの妹に会うとまったくイメージが逆になるとぼくは思います。

まずはダウン症を知ってください。そこから障がい者への理解ができると思います。知ろうとする心が大切です。

一本多い染色体にはたくさんのやさしさがつまっています。

妹へ、ぼくの家族になってくれてありがとう。



◎今、人とのつながりが弱くなっています。時代の流れでしょうか。何気ない挨拶、笑顔で人は心がほっこりします。私が自転車のタイヤに空気を入れている時に後ろから「おはようございます」とかわいいう声がし、ふりむくと年少組さんでしよっか、にっこり笑顔で手をふってくださいました。後日また会うことになり、かわいいう声で挨拶をして頭をぺこりと下げられ、私も「おはようございます。お礼口さんやね」と声をかけると、お母さんも一緒に挨拶をしてくれるようになりました。心からありがとと笑顔になりました。(はあば)

『あこう社協だより』募集

(応募方法)氏名(ペンネーム)・年齢・性別・電話番号を明記し、持参・郵送・Eメールのいずれかで応募ください。2000字程度にまとめてください。
※送付先は、下記をご覧ください。

12月1日～
20日

歳末たすけあい運動

～つながり ささえあう みんなの地域づくり～



「歳末たすけあい運動」は、地域住民やボランティア、まちづくり連絡(推進)協議会などの関係機関・団体の協力のもと、誰もが地域で安心して暮らし、あたたかい気持ちで新年を迎えられるよう、住民の参加や理解をいただきながら、福祉活動を重点的に展開するものです。
今年も皆さまのご協力をお願いいたします。

友愛訪問事業



ひとり暮らし老人・高齢者世帯などを対象に、お弁当やお菓子、お手紙などをもってお宅を訪問します。



歳末たすけあい運動で寄せられた募金は、左記事業のほか、「歳末もち配布事業」「要保護・準要保護世帯児童生徒お年玉」「養護老人ホーム・児童福祉施設・障がい者福祉施設(市内)入所者たすけあい金」「生活困窮者支援」「ひとり親家庭ランドセル購入助成」「ひとり親家庭中学生体操服等購入助成」などの事業へ配分されます。令和3年度は750万円を目標にしています。

編集後記

今年も早いもので、残り1か月を切りました。今年も残念ながら昨年と同様に新型コロナウイルスの影響を受け続けた1年となってしまいました。しかし、ワクチン接種が進むなど世界は少しずつ前に進んでいると思うので、気持ちも明るく来年を迎えたいと思います。(山)

ご意見・問合せは

社会福祉法人 赤穂市社会福祉協議会

〒678-0232 赤穂市中広267番地
電話 0791-42-1397 FAX 0791-45-2444
E-mail ako-shakyo@ako-shakyo.jp

ホームページ
公式SNSも
ご覧ください!



赤穂市社協

検索